

働く人の行動災害（転倒・腰痛）を防ぐために

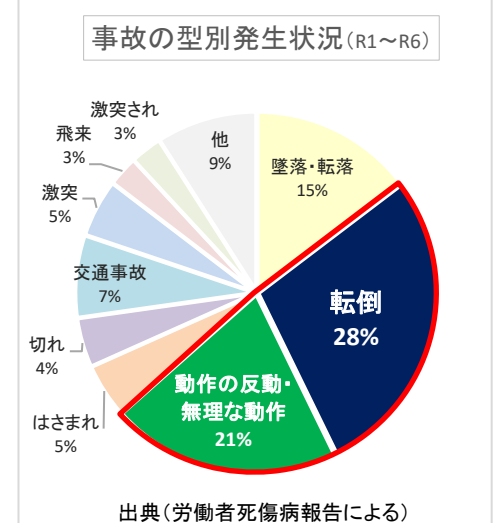
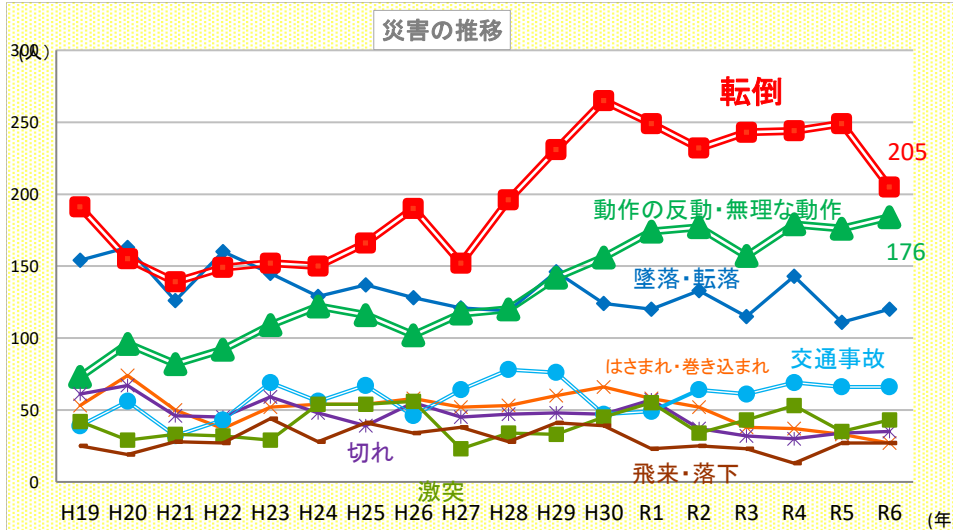
新宿労働基準監督署

行動災害の危険を認識・共有し、職場改善と安全意識の向上を！

行動災害とは・・・「転倒」及び「動作の反動・無理な動作」による腰痛等、職場における労働者の作業行動を起因とする労働災害

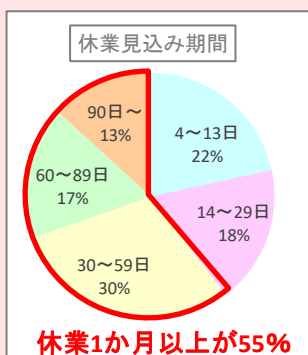
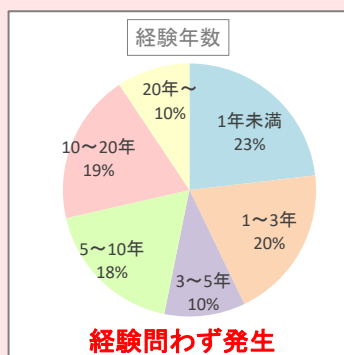
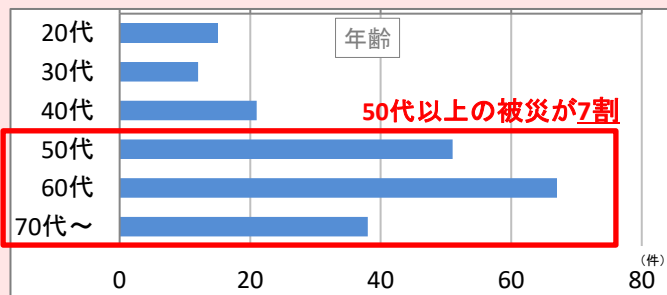
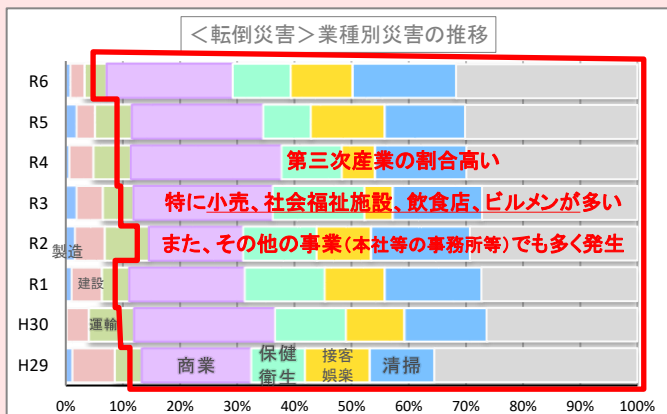
管内（新宿・中野・杉並区）の労働災害の発生状況（事故の型別）

◇転倒災害が最も多く、次いで「動作の反動・無理な動作」による腰痛等の行動災害が約半数を占める

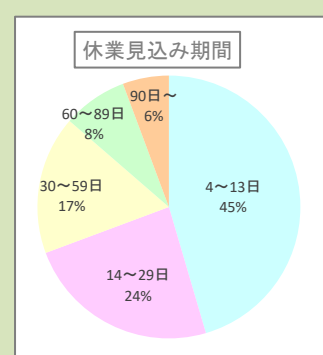
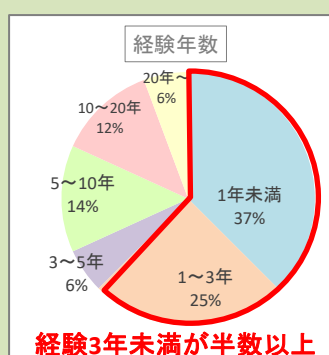
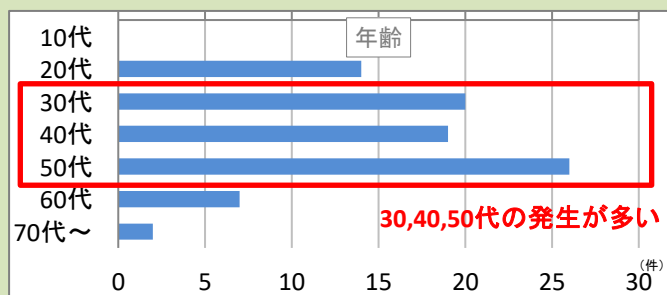
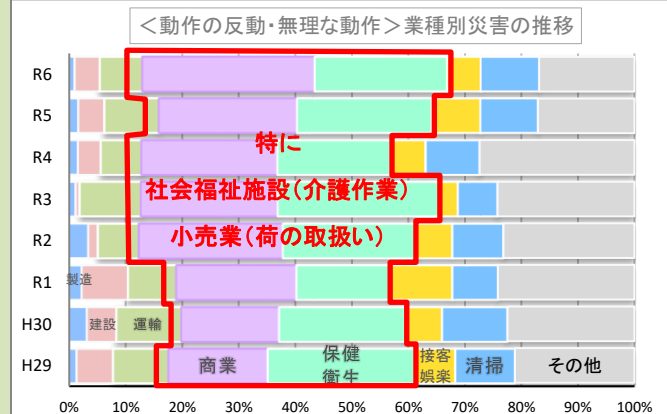


「転倒」・「腰痛」災害の特徴

転倒災害の特徴



腰痛災害の特徴

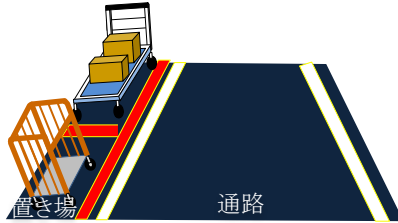


「転倒」災害防止対策のポイント

◇“滑り”“つまづき”等の危険箇所をなくすこと！

◇危険箇所を特定
(巡視や作業からの聞き取り)

◇ラインテープ等により
「通路」「置き場」の表示



◇危険箇所の見える化
◇整理整頓の徹底
◇水気を直ぐに除去



◇転倒災害防止の重要性を教育

◇転倒の危険性について認識させること！

＜教育内容(例)＞
・災害の発生状況
・発生リスクの高い箇所、作業
・通路の確保・4Sの重要性
・適切な靴の選定
・身体能力を把握すること
・効果のある体操の実施



骨折等が頻発しており、休業が長期化している実態を伝える等

◇教育資料や視聴覚教材の活用
厚生労働省 職場の安全サイト

◇適切な靴の選定



ポイント

- ① 靴の屈曲性
- ② 靴の重量
- ③ 靴の重量バランス
- ④ つま先部の高さ

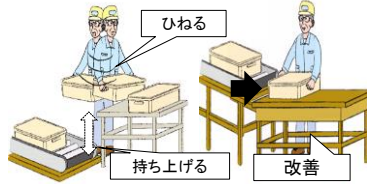


「腰痛」災害防止対策のポイント

◇腰への負担を軽減するための対策の推進

◇介護施設施設においては、
ノーリフトケア(抱え上げない介護)
＜福祉機器・用具の積極的活用＞

◇作業者の負担を軽減する対策



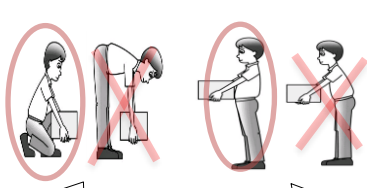
スタンディングマシンを利用する

リフトを利用する

◇負担の少ない荷の持ち上げ



スライディングボードを利用する



膝を曲げて抱える

体を近づける

事業場に合った機器・用具の導入

◇腰痛予防の教育(特に雇入れ時)

◇腰痛の発生要因と対策のポイントを教育

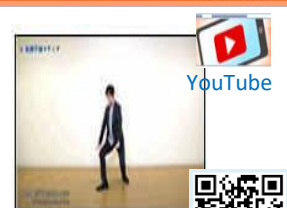
＜教育内容(例)＞
・福祉機器の適正な使用
・移乗作業時の作業姿勢
・4Sの重要性
・効果のある体操の実施



◇教育資料の活用
高齢者介護施設における
雇入れ時の安全衛生教育用パンフレット

◇視聴覚教材

転倒・腰痛防止用視聴覚教材



介護施設 教育 パンフレット

検索

SAFEコンソーシアム ポータルサイト

“SAFEコンソーシアムについて”

全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる
職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」
を設立しました。



従業員の幸せのための
安全アクションを推進する
活動体の名称

Safer
Action
For
Employees



SAFEコンソーシアムポータルサイト

SAFEとは？

コンソーシアム

シンポジウム

アワード

現場視察

転倒予防川柳

動画

SAFEアワード

受賞事例が決定しました

結果発表はこちら



SAFEコンソーシアム シンポジウム

開催レポートはこちら



動画一覧



職場における転倒・腰痛予防対策動画

